

前立腺肥大症治療に、 チューブ 内視鏡下核出術(TUEB)を。

当院が実施する内視鏡下核出術(TUEB)は、従来の治療法に「くりぬく」という方法を加えた前立腺肥大症の治療法であり、安全性と確実性を向上させました。

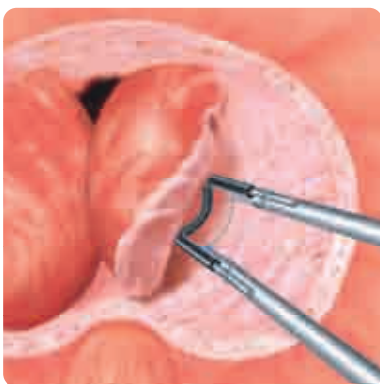
安 全

身体にやさしい生理食塩水中で、組織を「くりぬく」ことで、出血を少なくするため、合併症が起きにくくなったといわれています。

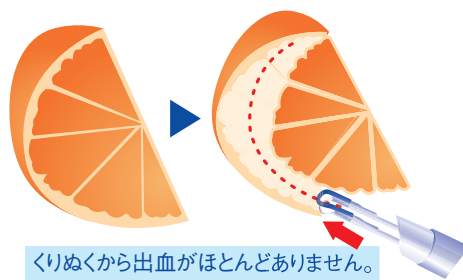
確 実

従来治療が困難であった極めて大きく肥大した前立腺に対し、根元から「くりぬく」という方法を導入することにより、確実な治療効果をねらい、再発の低減にも貢献します。

チューブ TUEBとは？

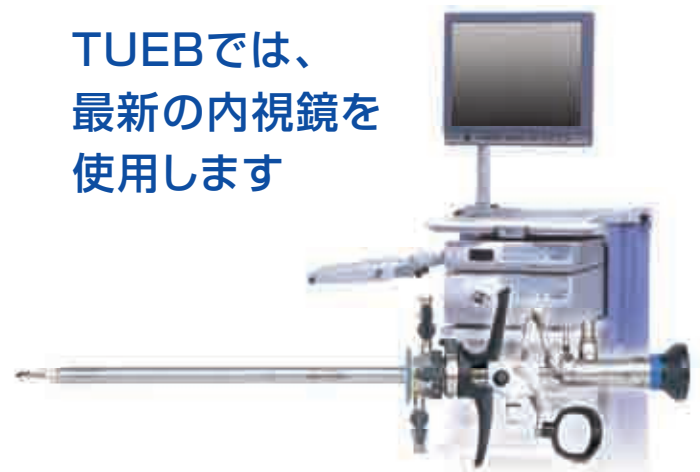


今までの治療法は、肥大した前立腺を「削る」という方法が主流でした。前立腺をミカンに例えると、外側の皮の近くまで内側の実を少しずつ削り取っていたため、その間果汁が漏出するように出血が続いていました。それに対し、当院が実施しているTUEBは、前立腺を「くりぬく」と同時に止血も行う治療法です。つまり、ミカンの外側の皮を残して、内側の房をはがすように切除するため出血がほとんどありません。そのため、周辺組織への影響も少ないので、患者様の体への負担が少なくなります。



くりぬくから出血がほとんどありません。

TUEBでは、最新の内視鏡を使用します



この手術は、日本で生まれ、世界でも多く実施されています。
また、保険適用もされています。

詳しくは、担当医までご相談ください。